

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成27年1月22日(2015.1.22)

【公開番号】特開2013-205961(P2013-205961A)

【公開日】平成25年10月7日(2013.10.7)

【年通号数】公開・登録公報2013-055

【出願番号】特願2012-72059(P2012-72059)

【国際特許分類】

G 06 F 3/00 (2006.01)

【F I】

G 06 F 3/00 W

G 06 F 3/00 R

【手続補正書】

【提出日】平成26年11月28日(2014.11.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0040

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0040】

データ転送が実行中でない場合、またはステップS13の処理の後、ステップS14の処理が行われる。ステップS14の処理では、応答部25bは、転送情報と切り替え部25cからの信号をもとに、スレーブ22-1～22-nが低消費電力状態であるときに、マスター21-1～21-mの何れかから転送命令が発行されたか否かを判定する。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0045

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0045】

応答部25bには、解析部25aで解析され、記憶部25dに格納された転送情報と、切り替え部25cから、スレーブが低消費電力状態になったことを示す信号SELと、クロック信号HCLKが入力される。また、応答部25bは、信号READY, HRES, HRDATAを出力する。これらは、スレーブ側から出力されるものと同じ種類の信号である。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0080

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0080】

解析部25aには、マスター側からの命令（どのような転送を行うかなどを示す命令）と、動作クロックを生成する図示しない回路部からクロック信号PCLKが入力される。

応答部25bには、解析部25aで解析され、記憶部25dに格納された転送情報と、切り替え部25cから、スレーブが低消費電力状態になったことを示す信号SELと、クロック信号PCLKが入力される。また、応答部25bは、信号PREADY, PSLVERR, PRDATAを出力する。これらは、スレーブ側から出力されるものと同じ種類の信号である。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0086

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0086】

(AXI適用時のエラー応答回路の信号例)

図10は、AXI適用時のエラー応答回路の信号例を示す図である。図10でも、図2に示したエラー応答回路25-1内の信号例が示されている。他のエラー応答回路25-2～25-nでも同様の信号が用いられる。